

---

# 境界線上の伝説の憑依者の伝説、のおとしもの

上杉 雪影

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

境界線上の伝説の憑依者の伝説、のおとしもの

### 【Nコード】

N5438Z

### 【作者名】

上杉 雪影

### 【あらすじ】

その世界には東国無双と呼ばれる者、西国無双と呼ばれる者がいた。

だがもう一人天下無双と呼ばれる者もいた………はず。いろいろとタイミング悪いところに憑依しちゃった主人公。うん、がんばって。

あと広域殲滅ってイイよね！！

ということ、よろしくお願いします、と。

かっこつけることは必要かと

以上。(前書き)

かっこつけました

かっこつけることは必要かと 以上。

ある者は言った。奴はヒトの域を出た【化け物】だと

だがある者は言う。彼はれっきとした【人間】だと

だがある者は言った。奴は白と黒の翼を持つ【墮天翅】だと  
ヴァイス・シュバルツ

だがある者は言う。彼は誰かを護る為にその翼を自ら広げた【天使】  
だと

だがある者は言った。奴は紅の槍を持つ【神を殺す者】だと  
ロンギヌス

だがある者は言う。彼はその槍で仲間を襲い掛かる恐怖を殺して道  
を造る【人を生かす者】だと

だがある者は言った。奴は両の紅の魔眼を持つ【冥王】だと  
イーノ・ドゥーエ

だがある者は言う。彼は己の為にその両の紅の魔眼から涙を流して  
くれた【友】だと

だがある者は言った。奴は最強で最凶の【破壊者】だと

だがある者は言う。彼はその力で仲間を護り続けた最優の【守護者】  
だと

だがある者は言った。奴は心無き【悪魔】だと

だがある者は言う。彼は心優しき【仲間】だと

《これはかつて【人】して生まれ【人】とは呼ばれなくなっ

た少年の物語》

かつこつけることは必要かと

以上。(後書き)

がんばるぞー

うん、???

少し高い位置から月明かりが差し込んできている。

ふいに意識の覚醒を感じた

閉じままの重い瞼を持ち上げる。

視界に映り込むのは闇夜に浮かぶ白い月。

「……………?」

……………おかしい

確か自分は……死んだはずだ、崩壊したビルの下敷きになって。

生まれは不幸なことに暗部の家であった。

そう、裏の世界に深く関係する家だった。

更に不幸なことに長男に生まれたので当然家を継ぐ羽目になり、当然暗部としての教育もちゃっかり受けることに。

そして齡九つにして中国拳法、太極拳、合気道、古流武術、ムエタイ、カポエラ、バリツ等々のありとあらゆる体術を叩き込まれ。

ありとあらゆる武器の使用方法も叩き込まれた。

親がひどい親だったのかと聞かれればそんなことはない、ひどい親バカではあったが。

両親は優しくそれゆえに訓練には厳しかった。

でも崩壊したビルの下敷きになっても生還する方法は教えて貰っているはずもないわけで。

まあ要するに 死んだ

「……………はずなんだけどなあ」

そう、確かに死んだはずなのに今、何事もなかったかのように自分の目には満月が“二つ”映っている。

……………ん？ 二つ？ あれ、月って一つじゃなかったっけ？

……………あれえ!?

「おいおいおい。どこなんだよ、ここはあ？」

首を左右に振って辺りを見回すが、あるのは広大な平原のみ



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5438z/>

---

境界線上の伝説の憑依者の伝説、のおとしもの

2011年12月18日11時52分発行